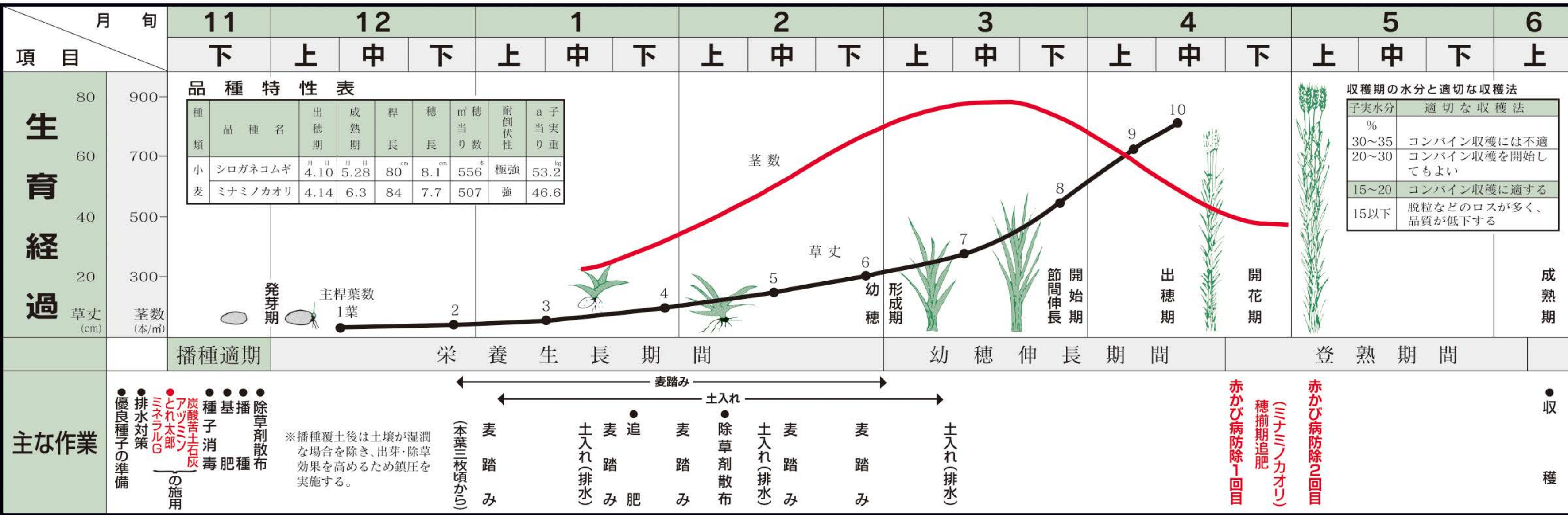


全量種子更新で高品質な売れる麦生産に努めましょう!!

地力維持のため稲ワラを全量すき込みましょう。



近年目立つ雑草類について

〈スズメノテッポウ〉

麦作における代表的なイネ科雑草で、播種直後の土壌処理剤と中耕土入れで防除できるが、多発すると極端に麦の生育を阻害する。

〈カズノコグサ〉

湿田での発生が多いイネ科雑草で、発生期間が長いことから播種直後の土壌処理剤だけでは防除し難い。

〈ヤエムグラ〉

多発すると麦を巻き倒し、収穫作業に支障を来すこともある雑草で、発生初中期(1月〜2月)に除草が必要。

〈カラスノエンドウ〉

4月に赤紫の花が咲くマメ科植物で、麦収穫時に子実が混ざると調製で除去できないので、麦販売上の問題となる。

〈イヌタデ〉

発生場所は多くはないが近年目立つようになった雑草で、発生初期(1月中旬〜2月中旬)に除草が必要。

〈キンボウゲ類〉

発生場所は多くはないが近年目立つようになった雑草で、発生初期(1月中旬〜2月上旬)に除草が必要。

柳川の選ばれる麦づくり運動

- ※実需者が求める品質の高い麦づくりに努めよう!!
- シロガネコムギ(日本産用)
- タンパク9.7%以上〜11.3%以下
 - 灰分1.6%以下
 - 容積重840g/ℓ以上
 - フォリングナンバー300以上
- ミナミノカオリ(バン・中華産用)
- タンパク11.5%以上〜14.0%以下
 - 灰分1.75%以下
 - 容積重833g/ℓ以上
 - フォリングナンバー300以上

良質安定多収8つの重点ポイント

- 1.湿 害 (排水) 対 策 (弾丸暗渠の実施)
- 2.地 力 増 強 (とれ太郎・アツミン・ミネラルG) 炭酸苦土石灰の散布
- 3.種 子 更 新
- 4.種 子 消 毒 の 徹 底
- 5.適 期 播 種
- 6.雑 草 防 除
- 7.赤 か び 病 防 除
- 8.異 品 種 の 混 入 防 止

地力増強(土づくり)

- 1.有機物の施用
稲わら:全量12〜15cmの深さですき込む。
堆 肥:牛フン1〜2t/10aまたは、アツミン40kg/10a施用。
- 2.土壌改良剤の施用
収量・品質の安定のために、ケイ酸質資材やアルカリ資材を施用する。
ケイ酸補給:とれ太郎 60kg/10a施用。
PHの矯正:炭酸苦土石灰140〜200kg/10a施用。
ミネラルG 140〜200kg/10a施用。

赤かび病防除の徹底

「赤かび病」は麦の収量、品質に大きく影響します。特に、食品の安全性が問われる中で、かび毒であるデオキシニバレノール (DON) が取り沙汰され、農産物規格規程上、赤かび被害粒混入限度0.0%と厳しい基準となっています。

赤かび病予防を行うことが売れる麦の最低条件となっています。

〈赤かび病〉



農薬を使用する場合はゴム手袋・マスク等の防護具を着用して下さい。

農薬の安全使用と飛散防止対策を徹底しましょう。

排水対策

- ①地下排水:有材暗渠+弾丸暗渠
- ②表面排水:は場周囲+畦間(枕地に溝を切り排水口に通す)
- ※表は浸透に弱いので、は場の排水性が収量や品質に大きく影響を及ぼします。
- 降雨後の水がは場に停滞しないよう排水溝の整備を行いましょう。

播種時期及び播種量

☆品質向上と安定生産の為、毎年、全量種子更新を行い、充実のよい種子を用いる。(10a当り)

種 類	播 種 適 期	播 種 量
小 麦	11月20日〜11月30日	シロガネコムギ 6〜7kg ミナミノカオリ

前年度ヤギシロトビシンの被害を受けた圃場では、播種適期の範囲内でなるべく早く播種する。
※晩播限界 12月15日
注意) 晩播対策:播種量を20〜40%増量する。
大 豆 後:播種量を20%減らす。

種子消毒

薬 剤 名	対 象 病 害 虫	処 理 方 法
ベンレートコート	斑葉病 黒穂病 なまぐさ黒穂病	種子10kgに薬剤50gを粉衣する。
アドマイヤー水和剤	ヤギシロトビシン	種子10kgに薬剤15gを粉衣する。
クルーザーFS30	ヤギシロトビシン(多発田)	種子10kgに薬剤60mlを塗布する。

※ベンレートコートとアドマイヤー水和剤は混用できる。
※ヤギシロトビシン多発田では、ベンレートコートとクルーザーFS30を混用する。

施肥基準

品 種 名	基 肥	一 発 追 肥 (1月下旬)		穂摘期追肥 出穂10日後頃
	ちくこの めくみ444	麦追肥一発1号	硬質小麦用 追肥3004	硫 安
成分(N-P-K)	14-14-14	24-0-5	30-0-4	21-0-0
水稲後	シロガネコムギ	40kg	40kg	—
	ミナミノカオリ	40kg	—	40kg
大豆後	シロガネコムギ	30kg	30kg	—
	ミナミノカオリ	20kg	—	30kg

赤かび病防除

品 種	防 除 適 期	薬 剤	10a 使用量
シロガネコムギ	※開花期(出穂後7〜10日)	粉 剤 トップジンM	4kg
ミナミノカオリ	1回目:開花期(出穂後7〜10日) 2回目:1回目の5〜7日後	液 剤 トップジンM水和剤	1000倍水100ℓ

※開花期に降雨が続く場合、シロガネコムギも赤かび病が多発するため、2回目防除(1回目防除の5〜7日後)を行います。

麦踏み

12月下旬〜2月下旬(本葉3枚頃〜節間伸長期開始)にかけて分げつ促進と徒長防止のために3〜5回を目途に行う。土が乾燥し、茎葉に霜や露がない条件で実施する。茎立期以降は麦踏みはしない。

土入れ

1月上旬〜中旬、2月上旬〜中旬、3月上旬を目安として、できるだけ麦苗前に実施する。雑草や無効分げつの抑制、倒伏防止、表面排水等に効果がある。

除草基準

薬 剤 名	適 用 雑 草 名	使 用 時 期	10a当り使用量(希釈水量)	使 用 上 の 注 意
リベレーターフロアブル	一年生雑草	播種後〜麦3葉期(雑草発生前〜イネ科1葉期)	60〜80ml(水100ℓ)	・砂土、整地は丁寧に1回土入れ2〜3cmになるように覆土する。 ・土壌がしめりすぎていると効果むらや害害の原因となることがある。 ・まれに麦の葉身に白化や黄化が見られることがあるが、その後の生育に影響はない。
リベレーターG(粒剤)	一年生雑草	播種後〜麦2葉期(雑草発生前〜イネ科1葉期)	4〜5kg	・砂土、整地は丁寧に1回土入れ2〜3cmになるように覆土する。 ・土壌がしめりすぎていると効果むらや害害の原因となることがある。 ・まれに麦の葉身に白化や黄化が見られることがあるが、その後の生育に影響はない。
ハーモニー細粒剤F	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	播種後〜麦3葉期(雑草発生前〜発生始期)	4〜5kg	・土壌が乾燥している時には、効果が遅れる場合がある。 ・本剤を使用した後に、ハーモニー75DF水和剤は使用できない。(どちらか1回のみ)
ハーモニー75DF水和剤	一年生広葉雑草 スズメノテッポウ	播種後〜節間伸長期(スズメノテッポウ5葉期まで)	5〜10g(水100ℓ)	・カズノコグサに重点を置いた防除を行う場合は10g使用する。
エコパートフロアブル	一年生広葉雑草 ヤエムグラ	節間伸長期開始期まで(広葉雑草2〜4葉期)	50〜100ml(水100ℓ)	・効果の発現が早く、低温条件下でも速効的である。 ・麦の葉身に軽微な白斑、白点などを発生するが、一過性でその後の生育に影響しない。 ・葉立期以降は、白斑、白点の発生に発生するので使用しない。
アクチノール乳剤	一年生広葉雑草 カラスノエンドウ	穂ばらみ期まで(雑草生育初期)	100〜200ml(水70〜100ℓ)	・高温時の散布は葉の黄化を生じるので注意する。
バサグラン液剤	一年生広葉雑草 キンボウゲ類	小麦の生育期(雑草の3〜6葉期) 収穫45日前まで	100〜200ml(水70〜100ℓ)	・キンボウゲ類に効果が強い。 ・低温、曇天時の散布は効果が劣ることがある。

注) ①ハーモニー75DF水和剤散布に当たって周辺作物に被害を与えるため、散布時の飛散(専用ノズルの使用)や散布後の流出に十分注意する。
②ハーモニー75DF水和剤散布に用いた器具類は消石灰500倍液を10分間循環させた後20分間放置し、排出後清水で洗浄する。
③ハーモニー細粒剤Fを使用した後に、ハーモニー75DF水和剤は使用出来ません。

播種前の雑草が多い場合:ラウンドアップマックスロード200倍液(播種前又は播種後出芽前)を10a当たり100ℓ、周囲の作物にからないように散布する。
カラスノエンドウ対策:①発生時の播う2月に薬剤防除(ハーモニー75DF水和剤、アクチノール乳剤)を有効に実施する。
②更に開花期に残った分を根こそぎ取り除く。
カズノコグサ、タデ対策:①前年度発生は場では排水対策を徹底し、播種直後の除草(リベレーターフロアブル、リベレーターG(粒剤))を散布する。
②1月下旬〜2月上旬にカズノコグサやタデに効果が強いハーモニー75DF水和剤を散布し、中耕・土入れを徹底する。

令和3年産麦栽培管理記入欄

品種名 作付面積		11月			12月			1月			2月			3月			4月			5月			6月		
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
シロガネコムギ a	主な作業	弾丸暗渠	種子消毒	播種・基肥			麦踏み	土入れ	麦踏み	土入れ	麦踏み	土入れ	赤かび防除(1回目)			赤かび防除(2回目)			収穫						
		/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日													
		土壌改良資材		雑草防除		雑草防除	追肥	雑草防除				/ ~ 日			/ ~ 日			/ ~ 日							
ミナミカオリ a	主な作業	弾丸暗渠	種子消毒	播種・基肥			麦踏み	土入れ	麦踏み	土入れ	麦踏み	土入れ	赤かび防除(1回目)			赤かび防除(2回目)									
		/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日			/ ~ 日										
		土壌改良資材		雑草防除		雑草防除	追肥	雑草防除				穂肥						収穫							
		/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日	/ ~ 日			/ ~ 日			/ ~ 日							